

子どもと女性の
健康相談室

65



福島医大付属病院
性差医療センター教授・部長
小宮 ひろみ氏

症状を踏まえて処方

漢方は中国伝統医学が日本に伝来し、日本で継承・発展した医学です。後漢二〇〇年頃の中国古書「金匱要略(きんきよりのやく)」には「女性には…」という記載が多く見られます。女性は男性と異なり、月経周期の存在、妊娠・出産、閉経があり、創意工夫を凝らし女性に対する漢方療法が発展してきたのではないかと考えます。

漢方を服用して「良く効いた!」とか「ぜんぜん変わらない」などいろいろ感じることもあるでしょう。漢方には「証(しよ)」という漢方特有の用語があります。「証」を見極める上で、体が熱いか寒いか、生体の反応

が強いかわ弱いか重要な指標になります。また「気血水(きけつすい)」という用語があり、これについては【図】に示した通りです。これら「証」を明らかにすることにより、漢方薬が選択されれば、治療効果は高まります。

漢方薬は女性特有の月経に関する症状(月経痛、月経前症候群)や女性に顕著に表れやすい更年期障害などに有効です。女性の漢方薬で有名なお薬として当帰芍薬散(とうきしゃくやくさん)、加味逍遙散(かみしょうようさん)が有名です。

漢方薬は女性特有の月経に関する症状(月経痛、月経前症候群)や女性に顕著に表れやすい更年期障害などに有効です。女性の漢方薬で有名なお薬として当帰芍薬散(とうきしゃくやくさん)、加味逍遙散(かみしょうようさん)が有名です。

女性医療と漢方療法

■気血水の形成



性的ライフステージを見ますと、二十代から四十年代前半では、前述した三処方(三)がかなり有効ですが、更年期障害は、漢方医学的にも病態が複雑になるためそれ以外の漢方薬が必要になることもあるようです。女性特有の症状のため漢方治療をご希望の際は産婦人科医あるいは漢方専門医に相談することをお勧めします。

次回9月20日掲載